

'01 東京工業大学

解説

j 回目に取り出したカードの番号を x_j とすると

$$X_j = x_1 + x_2 + \cdots + x_j$$

(1) $X_1 = 1$ となるのは $x_1 = 1$ のときであるから

$$P_N(1) = \frac{1}{N}$$

$X_1 = 2$ となるのは $x_1 = 2$ のとき,

$X_2 = 2$ となるのは $x_1 = x_2 = 1$ のときであるから

$$P_N(2) = \frac{1}{N} + \frac{1}{N^2} = \frac{N+1}{N^2}$$

$X_1 = 3$ となるのは $x_1 = 3$ のとき,

$X_2 = 3$ となるのは $(x_1 = 2, x_2 = 1)$ または $(x_1 = 1, x_2 = 2)$ のとき,

$X_3 = 3$ となるのは $x_1 = x_2 = x_3 = 1$ のときであるから

$$P_N(3) = \frac{1}{N} + \frac{2}{N^2} + \frac{1}{N^3} = \frac{(N+1)^2}{N^3}$$

(2) $X_2 = 4$ のとき $(x_1, x_2) = (1, 3), (2, 2), (3, 1)$

$X_3 = 4$ のとき $(x_1, x_2, x_3) = (1, 1, 2), (1, 2, 1), (2, 1, 1)$

$X_4 = 4$ のとき $(x_1, x_2, x_3, x_4) = (1, 1, 1, 1)$

$$\text{よって } P_3(4) = \left(\frac{1}{3}\right)^2 \times 3 + \left(\frac{1}{3}\right)^3 \times 3 + \left(\frac{1}{3}\right)^4 = \frac{37}{81}$$

$X_2 = 5$ のとき $(x_1, x_2) = (2, 3), (3, 2)$

$X_3 = 5$ のとき $(x_1, x_2, x_3) = (1, 1, 3), (1, 2, 2), (1, 3, 1),$
 $(2, 1, 2), (2, 2, 1), (3, 1, 1)$

$X_4 = 5$ のとき $(x_1, x_2, x_3, x_4) = (1, 1, 1, 2), (1, 1, 2, 1),$
 $(1, 2, 1, 1), (2, 1, 1, 1)$

$X_5 = 5$ のとき $(x_1, x_2, x_3, x_4, x_5) = (1, 1, 1, 1, 1)$

$$\begin{aligned} \text{よって } P_3(5) &= \left(\frac{1}{3}\right)^2 \times 2 + \left(\frac{1}{3}\right)^3 \times 6 + \left(\frac{1}{3}\right)^4 \times 4 + \left(\frac{1}{3}\right)^5 \\ &= \frac{121}{243} \end{aligned}$$

'01 東京工業大学

(3) N 枚のカードについて, $X_i = k$ となる確率を $P_N(X_i = k)$ と表す.

$$P_N(k) = P_N((X_1 = k) \cup (X_2 = k) \cup \dots \cup (X_k = k))$$

$X_1 = k, X_2 = k, \dots, X_k = k$ のうち, どの 2 つも互いに排反であるから

$$P_N(k) = P_N(X_1 = k) + P_N(X_2 = k) + \dots + P_N(X_k = k)$$

$1 \leq i \leq k$ のとき, $x_1 + x_2 + \dots + x_i = k$ となる (x_1, x_2, \dots, x_i) の組の数を求める.

x_i は 1 以上の整数であるから, これは k 個の \bigcirc を 1 列に並べたときにできる $k-1$ 個の隙間から $i-1$ 個を選ぶ組合せの数に等しい.

すなわち ${}_{k-1}C_{i-1}$

$$\begin{aligned} \text{ゆえに } P_N(k) &= \sum_{i=1}^k {}_{k-1}C_{i-1} \left(\frac{1}{N}\right)^i = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^k {}_{k-1}C_{i-1} \left(\frac{1}{N}\right)^{i-1} \\ &= \frac{1}{N} \left(1 + \frac{1}{N}\right)^{k-1} \end{aligned}$$

講評

確率と漸化式の標準的問題. 文字ばかりが出てくると抽象的で非常に考えにくいので, 実際に数字を当てはめて考えていくようにしていきたい. 数字を当てはめて, 上くに規則性を発見すれば, あとはその規則性を文字に適用させればよい. この問題の解き方の流れをきちんとマスターしておきたい.